2022年2月10日 証券コード 2162

## nms ホールディングス株式会社 2022年3月期 第3四半期連結累計期間 決算概要

- 第2四半期以降、お客様からの引き合いや需要が強い状況が続いており、前年同期比で増収となったものの、 EMS事業およびPS事業における、部材不足に起因する影響が顕著となり、自社への直接影響だけでなく 国内外のお客様の減産や稼働停止、生産計画後ろ倒し等による大幅な生産減に加え、需給ひっ迫を背景とした 原材料・副資材の価格高騰や物流コストの上昇が継続
- 加えて、当社グループ進出国・地域において、新型コロナウイルス感染症の再拡大による、想定を上回る規模でのロックダウンが断続的に発生、お客様やサプライヤーの稼働停止、人の往来制限による事業の停滞など、すべての事業において売上・利益への影響を余儀なくされた
- この状況に対し、グループ全体で徹底した固定費削減策を実行しているものの、部材不足・感染症等による 影響が大きく、営業損失を計上
- 感染症関連費用、EMS事業の米国・メキシコ拠点 事業構造改革費用等、特別損失316百万円を計上

	2021年3月期	2022年3月期			第3四半期累計期間 実績		
(単位:百万円)	第3四半期 累計期間実績	  第1四半期  第2四半期		第3四半期	累計	備考	
売上高	39,922	14,944	15,485	15,311	45,741	【営業外損益】 営業外収益 525百万円 (前年同期比 405百万円増) 営業外費用 240百万円 (前年同期比 187百万円減)	
営業利益	361	40	△278	△391	△628		
経常利益	53	402	△351	△394	△343	【特別損益】 特別利益 58百万円 (前年同期比 53百万円増)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△587	75	△357	△462	△744	特別損失 316百万円 (前年同期比 162百万円減)	
EBITDA	1,370	413	113	△10	516		

## ■ セグメント別業績ハイライト



(単位:百万円)		2021年3月期 第3四半期 累計期間実績	2022年3月期 第3四半期累計期間 実績					
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	累計	前年同期比	主なポイント
HS事業	売上高	14,038	5,367	5,459	5,577	16,404	16.9%	国内はお客様の稼働調整影響が あったものの需要は堅調に推移、 海外は中国、タイが改善したもの
	セグメント利益	587	181	132	39	353	△39.8%	の、事業規模拡大に向けた募集 関連費用等先行投資影響があり 全体として増収減益
EMS事業	売上高	17,584	6,441	7,240	6,625	20,307	15.5%	需要は堅調に推移し売上増となっ たがASEAN・北中米における感 染症および部材不足に起因した
	セグメント利益	12	△78	△222	△193	△495	_	お客様の減産、部材価格高騰や 物流コスト上昇等による利益圧迫 要因により損失を計上
D.C.吉兴	売上高	8,299	3,134	2,785	3,108	9,029	8.8%	第2四半期以降部品調達難や 価格高騰影響に加え、ASEANに おける感染症拡大でお客様やサプ
PS事業	セグメント利益	135	55	△71	△121	<b>△137</b>	_	ライヤー生産拠点のロックダウン 影響を受け増収減益となったが 需要は高い水準を維持
調整額	セグメント利益	△372	△116	△115	△116	△348		当社(持株会社)に係る全社費用 *持株会社化に伴い、当費用は 各セグメントに配分せず「調整額」に区分
合 計	売上高	39,922	14,944	15,485	15,311	45,741	14.6%	
	セグメント利益	361	40	△278	△391	△628	_	

\*HS事業:ヒューマンソリューション事業 EMS事業:エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業:パワーサプライ事業

## (参考) セグメント別業績 - HS事業 -



## 売上高

16,404百万円

前年同期比 16.9%增



353百万円

前年同期比 39.8%減

#### 【事業母体】

日本マニュファクチャリング サービスグループ



- 感染症拡大や半導体関連等の部材不足による影響があったものの、事業規模拡大に向けた施策効果と共に前年同期に比べ感染症影響によるお客様の稼働調整による影響が軽微となったこともあり、前年同期に対し増収
- ▶ 利益においては、募集関連費用等、事業規模拡大のための先行投資の影響があったが需要拡大への対応を継続していく



ASEANにおいて、感染症によるお客様の稼働調整等の影響があったものの前年同期に 比べるとその影響は軽微となり、特に中国、タイにおける業績が改善傾向となった



## (参考) セグメント別業績 - EMS事業 -



## 売上高

20,307百万円

前年同期比 15.5%增

## セグメント利益

△495百万円

【事業母体】 TKRグループ

- 中国・ASEAN・北中米において生産活動を展開しており、感染症再拡大に伴い、 マレーシア、メキシコにおける各国政府方針によるロックダウンや部材不足等の影響が残った ものの、中国・ASEANでは感染症による影響が前年同期に比べ軽減されたことに加え、 ベトナム拠点での新規品生産立ち上げの開始もあり、前年同期に対し売上増加
- 利益面では、重点施策として生産立ち上げを進めているメキシコ拠点の先行投資コストに加え、 事業全体において部材不足に起因したお客様の減産や生産計画後ろ倒し、部材価格高騰や 物流コストの上昇等の継続が利益圧迫要因となった

足下では、ベトナム拠点に続き、生産計画が後ろ倒しになっていたメキシコ拠点において、 お客様からの受注が再開され、次年度からの生産立ち上げに向けた準備を開始



## (参考) セグメント別業績 - PS事業 -



### 売上高

9,029百万円

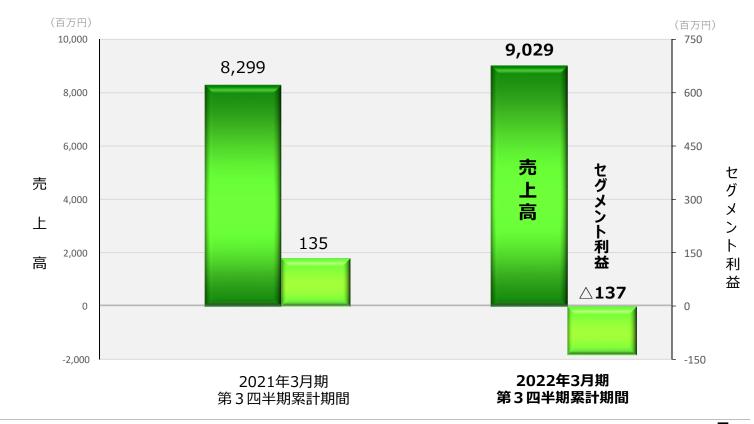
前年同期比 8.8%增

## セグメント利益 **137**百万円

#### 【事業母体】

パワーサプライテクノロジー グループ

- 抜本的コスト構造改革による体質強化の効果もあり、第1四半期は想定を上回る状況で 推移したものの、第2四半期以降は部品調達難および副資材も含む部材価格高騰の影響 が顕著となり、お客様やサプライヤーの生産拠点におけるロックダウン等の影響も継続
- 前年同期に対し増収となったものの、部材調達難等の影響で減益を余儀なくされたが、 需要は高い水準を維持しており、部品不足解消時及び次年度を見据えた取り組みを推進



# ■ 業績ハイライト (B/S)



	(単位:百万円)	2021年3月期 (2021年3月31日)	2022年3月期 第3四半期 (2021年12月31日)	増 減
流	動資産	21,658	24,801	3,143
固定資産		9,796	9,838	42
	有形固定資産	7,890	7,737	△152
	無形固定資産	883	1,017	133
	投資その他の資産	1,022	1,083	61
繰	延資産	52	42	△9
資	産合計	31,507	34,682	3,175
負	<b>債合計</b>	26,804	30,833	4,029
	流動負債	17,460	22,210	4,749
	固定負債	9,344	8,623	△720
純	資産合計	4,702	3,848	△853
負	債·純資産合計	31,507	34,682	3,175

## (参考) 会社概要



## nms ホールディングス株式会社

https://www.n-ms.co.jp/

	neepsi, / www. msreetjp/
本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円(2021年12月31日現在)
上場証券取引所	東京証券取引所(JASDAQ市場) 証券コード 2162
グループ社員数	13,147名(2021年12月31日現在)
事業内容	ヒューマンソリューション (HS) 事業 エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス (EMS)事業 パワーサプライ (PS) 事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
連結子会社数	海外19社含む25社(海外9カ国にグローバル展開)
主な連結子会社	日本マニュファクチャリングサービス株式会社(HS事業) 株式会社TKR(EMS事業) パワーサプライテクノロジー株式会社(PS事業)

## (参考) これまでの歩み:人材ビジネス+モノづくりで事業拡大



### HS事業 からスタート

### 海外展開へ

最先端技術の根幹を支える アナログ技術に着目

EMS・PS事業を M&Aで獲得 モノづくり分野へ進出

北中米へ進出

1985 9月 製造分野を中心とした請負事業を目的に株式会社テスコを設立 1999 2000 9月 商号を日本マニュファクチャリングサービス株式会社に変更 2003 2004 7月 北京日華材創国際技術服務有限公司を設立 2005 2007 10月 JASDAO証券取引所へ上場(現東京証券取引所JASDAO市場) 2008 2010 7月 EMS企業の株式会社志摩電子工業を子会社化 2011 8月 NMS International Vietnam Company Limited 設立 (外資初の構内製造請負事業許認可を取得) 2012 12月 北京中基衆合国際技術服務有限公司(現:中基総合(上海) 人力資源服務有限公司(中基総合))を設立 (外資初の中国国内労務派遣営業許認可取得) 2013 3月 中基縦合が中国政府系人材サービス会社を子会社化 2014 10月 TKRが株式会社日立メディアエレクトロニクスより 電源・トランス事業等を譲受 2015 3月 兼松株式会社と資本業務提携 2016 1月 NMS VIETNAM CO.,LTD.設立 3月 カンボジア駐在員事務所設立 7月 ベトナム工場、製造受託開始 2017 7月 nms(Thailand)Co., Ltd.がカンボジア現地企業と業務提携 7月 TKR MANUFACTURING PHILIPPINES INC.設立 2018 1月 パワーサプライテクノロジー社 EV分野の製品開発・製造拠点 2019 「松阪工場 |を開設 5月 TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.を設立 6月 nmsロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社を設立 10月 PT. NMS CONSULTING INDONESIAを設立 12月 TKR USA, Inc. を設立 2020 1月 nmsエンジニアリング株式会社を設立 2021 3月 Power Supply Technology (Thailand)Co., Ltd.を設立

7月 Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limitedを設立

10月 テクノブレーン株式会社アウトソーシング事業部の営業権を譲受 4月 中国北京市に北京オフィスを開設 4月 日本人技術者派遣事業を開始 7月 ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設 7月 EMS企業の株式会社テーケィアール (現:TKR) を子会社化 9月 中基縦合 無錫分公司を設立 1月 中基縦合 深圳分公司を設立 7月 中基縦合が中国河南省政府系機関と業務提携 5月 中国製造請負研究プロジェクトに参画 8月 日本通運株式会社と業務提携 9月 nms(Thailand)Co., Ltd.を設立、派遣事業を開始 10月 パワーサプライテクノロジー(株)発足、パナソニック株式会社から 一般電源事業を譲受し新たな体制で事業運営開始 12月 カンボジア人材会社2社とタイへの派遣事業で業務提携 nmsホールディングス発足 7月 NMS Lao Sole Co., LTD設立 8月 株式会社日本技能教育機構(JATEO)を設立 3月 TKR USAがソニー株式会社の米国法人Sony Electronics Inc.の 事業部門 Sony Service and Operations of Americasの 機能及び事業、並びにメキシコ牛産拠点を譲受 4月 TKR de México S.A. de C.V. にて事業開始

新たなステージへ

1月 Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limitedにて事業開始

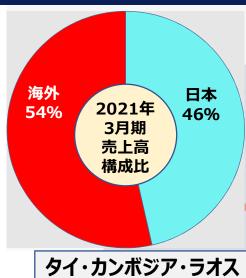
1月 TKRが株式会社テーケィアールマニュファクチャリングジャパンを吸収合併

1月 「株式会社テーケィアール」から「株式会社TKR」に商号変更

4月 TKRにて「シェアリングビジネス事業」、事業譲受した「3Dプリンター事業」を立ち上げ

## (参考) nms HDグループの海外展開





各事業の特長を融合させ、新たな需要を獲得

### 中国·香港

HS

**EMS** 



北京日華材創国際技術服務有限公司(日華材創)

中基縱合(上海)人力資源服務有限公司(中基縱合)

無錫分公司 深圳分公司 上海第1分公司

東莞分公司 広州分公司

中宝華南電子(東莞)有限公司

中宝華南電子(佛山)有限公司

中宝華南電子(佛山)有限公司 深圳分公司

中宝華南電子(佛山)有限公司 蘇州分公司



HS

Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd.

Representative office of nms (Thailand) Co., Ltd.

NMS Lao Sole Co., LTD.



TKR HONG KONG LIMITED

Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited

### ベトナム











NMS INTERNATIONAL RESOURCES CO., LTD. NMS VIETNAM CO., LTD.

TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.





TKR de México S.A. de C.V.

マレーシア



SHIMA ELECTRONIC INDUSTRY(MALAYSIA)SDN.BHD. TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN. BHD. TKR PRECISION (MALAYSIA) SDN. BHD.



インドネシア

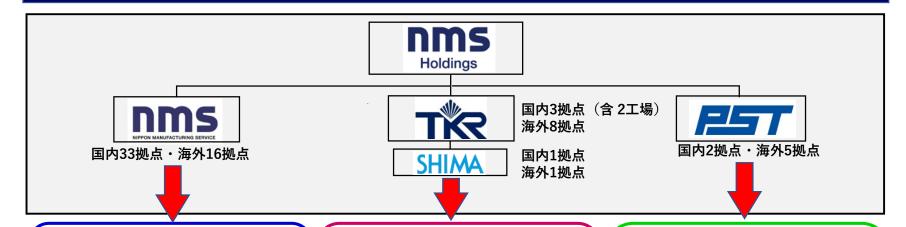
HS

PT. NMS CONSULTING INDONESIA

## (参考)nms HDグループ:3つの事業セグメント



## 「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。



# **HS**

ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を 知り尽くした人材が 日本やアジア各地域で活躍

#### 事業主体

日本マニュファクチャリングサービス

# **EMS**

エレクトロニクス マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する トータルソリューションを実現

#### 事業主体

TKR 志摩電子工業

# P S

パワーサプライ事業

電源専業メーカーの技術力で ワンランク上のソリューションを提供

### 事業主体

パワーサプライテクノロジー

# (参考)nms HDグループ 事業セグメント概要



		Tiolenings				
主なグループ会社	進出国·地域	主な事業内容				
ヒューマンソリューション事業(HS事業)						
<ul> <li>・日本マニュファクチャリングサービス株式会社</li> <li>・nmsエンジニアリング株式会社</li> <li>・株式会社日本技能教育機構</li> <li>・中基縦合(上海)人力資源服務有限公司</li> <li>・NMS VIETNAM CO., LTD.</li> <li>・nms (Thailand) Co., Ltd.</li> <li>・PT. NMS CONSULTING INDONESIA</li> <li>・NMS Lao Sole Co., LTD. 他</li> </ul>	日本 中国 ベトナム タイ ラオス インドネシア カンボジア	国内/海外におけるマニュファクチャリングサービス全般 ・製造事業(受託・請負・派遣・紹介) ・生産系エンジニアリング事業(受託・派遣・紹介) ・IT・設計開発エンジニアリング事業(受託・派遣・紹介) ・テクニカルサービス事業(各種リペア・リワーク・解析等/カスタマーサービス全般) ・ロジスティクスサービス事業(3PL/流通加工/派遣) ・省力化装置事業 ・外国人技能実習制度に関わる入国後教育研修の受託および実習生 受け入れ先への業務支援				
エレクトロニクス・マニュファクチャリング・サービス(EMS事業)						
<ul> <li>株式会社TKR</li> <li>中宝華南電子(東莞)有限公司</li> <li>TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN.BHD.</li> <li>TKR PRECISION (MALAYSIA) SDN. BHD.</li> <li>TKR MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD.</li> <li>TKR USA, Inc.</li> <li>TKR de México S.A. de C.V.</li> <li>株式会社志摩電子工業</li> </ul>	日本 中国 香港 (中国) マレーシア ベトナム 米国 メキシコ	・電子機器製造受託サービス (基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立等) ・電子機器修理サービス ・車載関連機器・部品の設計・開発・製造 ・お客様とのシェアリングビジネス、これにかかる設計・開発・営業 ・スタートアップソリューション事業 ・3Dプリンター事業(設計および製造、販売、修理、保守)				
パワーサプライ事業(PS事業)						
・パワーサプライテクノロジー株式会社 ・中宝華南電子(佛山)有限公司 ・Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd. ・Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited	日本 中国 香港 (中国) タイ	・カスタム電源(スイッチング電源、高圧電源)の開発・設計・製造・販売 ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売 ・各種トランス(スイッチングトランス、高圧トランス)開発・設計・製造・販売 ・電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売				



本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、 発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

> 本資料に関するお問い合わせ nms ホールディングス株式会社 広報・IR部 Tel:03-5333-1737 E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp



